

**令和6年度予算主要事業の概要**  
**(事業別説明資料)**

**病院事務局**



## 目 次

有識者等を交えた飛騨市民病院のあり方検討会議の実施 .....	3
---------------------------------	---

注：タイトル末尾に\*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（\*印がない事業は主要事業編から再掲となります）

## 新規 有識者等を交えた飛騨市民病院のあり方検討会議の実施

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
10,418	一般財源	10,418
		委託料 9,702
		旅費 440
(前年度予算 0)		報償費 276

### 2 事業背景・目的

飛騨市民病院の主な診療圏である神岡町と高山市上宝町及び奥飛騨温泉郷を含めたいわゆる高原郷地域は、飛騨圏域の中でも突出して高齢化が進んでいます。高齢者にとって高山市街地や富山市など遠方の病院への通院は負担が大きく、当地域における唯一の病院である市民病院の必要性はますます高まっています。

他方で、市民病院は供用開始から33年が経過していることから、建物や設備等に頻繁に不具合が生じており、病室の構造や設備が古く患者のニーズに応えきれないばかりか、感染症対応も困難な状況になっています。

こうした中で、将来にわたり地域住民の安心な暮らしを守るためにも、当地域における安定的かつ継続的な医療提供が必要であることから、医療需要の変化を踏まえ、持続可能な収支バランスを十分に考慮しながら、今後の飛騨市民病院のあり方を検討します。

### 3 事業概要

地域医療と自治体病院の経営に造詣が深い有識者や市民の代表等をメンバーとする飛騨市民病院のあり方検討会議を年4回程度開催します。

なお、検討会議においては、将来的な人口減少の動向を見据えた医療需要を推計し、病院の規模や機能、事業形態、大規模改修又は新築移転の必要性等を導き出すことが重要であることから、データ分析等に長けた医療経営コンサルタントを交えて慎重に調整を進め、持続可能な飛騨市民病院のあるべき姿をまとめていきます。



担当課：病院事務局管理課（☎0578-82-1150） 予算書：P.49